

平成 29 年度 工業会事業報告

1. 業界を取り巻く環境

平成 29 年度の世界を見ると米国トランプ大統領、フランス マクロン大統領、韓国文大統領が誕生しました。中でも米国第一主義を唱えるトランプ大統領の諸政策により世界の環境が大きく変化し、我が国にも影響を与えました。

我が国の経済を見ると、アベノミクスの取り組みの下、海外経済の緩やかな回復を背景に輸出や生産が持ち直すとともに、大手企業を中心に雇用・所得環境が改善され徐々に回復基調が見られました。

一方中小製造業に於いては受注量が増加した分野がある一方で、客先の海外シフトやグローバル化による影響を受け受注減に追い込まれた分野もあり、企業間の格差が一段と進みました。

受注のための新たな設備投資や原材料高と、人手不足そして人件費の上昇等コストアップ要因が揃う中、海外製品との価格競争に遭遇しました。国が進める下請け法の遵守により一部ではコストアップ要因を製品単価に徐々に反映されて来ましたが、完全実施には時間が掛かります。成形加工業にとって大変厳しい環境の中で「ものづくり」を続けてきました。

厳しい環境の中、平成 29 年度に取組んだ事業について報告致します。

2. 平成 29 年度取組んだ事業

1) [活気ある工業会創り]の為、多くの会員が参加出来る工場見学や研修会開催に取組んだ。

4 支部合同による研修会、工場見学会、情報交換会を実施した。

- ① 経営者研修「(株)IBUKI 山形工場」見学と松本社長の講演
- ② 新技術の紹介「東芝沼津工場」見学
- ③ 最近のプラスチック業界の状況について「日精樹脂工業(株) 相沢所長講演」
- ④ 精密成形インサート「(株)堀硝子 厚木事業所」見学
- ⑤ 精密成形 「(株)JVC ケンウッド本社工場」見学

・新春記念講演 テーマ 「日本経済を中心にした世界の動き」 市川能英 先生
上田八木短資(株) 専務取締役 元日銀横浜支店長

2) 新入会員勧誘活動

・「工業会事業のご案内」を更新し普及活動に努めた

3) 情報の収集と伝達

- ・全会員メールアドレスの登録
メール活用による情報の伝達スピードアップと、正確な意見集約に繋がった
総務委員会、理事会、支部会、技能検定委員会、技能士会、技術情報、業界情報の伝達
- ・業界アンケート調査
- ・雇用対策、樹脂原料価格の動向、各種講演会、各種技術情報、関連団体からの情報伝達
- ・各種会議の内容や委員会活動状況

4) 技能検定実施による人材の育成

5) 新技術の修得・製品の高付加価値化の研究と普及

6) KPM フォーラム(県立産業技術総合研究所協賛)得意技術を育てるための研修会を開催

7) 環境整備の推進

8) 全日本プラスチック製品工業連合会参画

9) その他

事業の詳細については、次のページ以下に記載してあります。

この 1 年間に会員各位のご理解とご協力に深謝し、平成 29 年度の事業報告と致します。